

## 三浦アルプス山行報告

【山 行 日】2018年 1月 8(月) 曇り時々晴れ 【集 合】岩舟支所P AM 5:00 【費 用】マイカー1台: 4、500円 【メンバー】CL:鈴木、島田、関、藤原、吉田 【コースタイム】岩舟支所P5:00=葉山町コイン P6:50/7:10~仙元山登山口 87:30~仙元山 7:50/8:00~観音塚8:40~連絡尾根の頭9:30~ 鉄塔下 10:10~乳頭山 10:30/10:45~森戸川林道

11:45/12:20~葉山町コインP13:00/13:10~鈴木水産 13:30/13:50=岩舟支所P16:50

リハビリ山行第2弾は、三浦半島の三浦アルプスを計画した。このコースは『私たちの山旅日記』 のHPを掲載している田村さん推奨の楽しいコースだ。東北道から首都高速湾岸線を進み、並木から金沢支線を経由し、横浜横須賀道路の逗子ICで出る。そのまま逗葉新道へ進み、料金所を出たPAでトイレを済ませる。そこから直進し、少し先の川久保交差点にあるコインパーキングに車を止め

る。準備を整え、ストレッチを行い出発する。そこから葉山の市街に向かい長柄の交差点を左折し、葉山トンネル手前を右折すると間もなく「木の下信号」に出る。信号を渡った所に「仙元山登山口」の標識があり、葉山教会に向かって舗装された急な坂道を登って行く。葉山教会の左側から山道に入り、少し下ってからすぐ登りになり広い階段道を登ると仙元山山頂の展望台に出る。ベンチとトイレがあり、西側には相模湾が広がり江の島から箱根の山々、その上には富士山が見渡せる。



あいにくの曇り空だが、上空は明るく雨の心配は無さそうである。休憩して衣服調整し、トイレを済ませ記念写真を撮ったら出発する。なだらかな道を進むと急な階段を下り、その先は急な階段の登



りになる。ここから先は急なアップダウンを繰り返しながら進むが、照葉樹の樹林は珍しく時折ニホンリスが現れて疲れを癒してくれる。さらに竹やぶや雑木林の中アップダウンして、やや急な坂道を登ると馬頭観音と千手観音が祀られた観音塚に着く。小休止してキーウイフルーツと菓子をいただく。何ヶ所も分岐があり、地図で確認しながら歩く。木の根が階段状になっている急坂から頂上に掛けてマテバシイが群生し、頂上には「三浦中央道路基準点」が埋設されている。

連絡尾根分岐から登ると、後ろに富士山や江の島が見えるようになる。ラクダの尾根から急なアッ

プダウンを繰り返し、東電の鉄塔がある小ピークを越えさらに登ると茅塚の山頂に着く。ここから左に直角に曲がるように進み、三国峠分岐を直進するとほんのひと登りで乳頭山山頂に着く。山頂からの眺望が良く、横須賀港や横浜方面が見渡せ横浜ランドマークも見える。大休止して眺望を楽しみ、キーウイフルーツや菓子を食べ水分も補給する。ここから階段を降りるとすぐに中尾根・田浦分岐になり、左の中尾根方面へ進む。すぐに鉄塔34号に着きここからの眺望も良く東京湾が見渡せる。さらに進むと鉄塔35号を越え、小ピークを登って下ると斜め十字路に出る。字が見えないような



標識があり、地図で確認して直進する。ここからが 中尾根コースになるが、結構アップダウンを繰り返し 30分程歩くと小山頂に出る。さらに15分程尾根を 下ると中尾根登り口に出る。沢沿いに少し歩き、沢を 渡ると左側に広場があり森戸川林道終点に着く。丸 太のベンチがあり、ここでランチタイムとする。キノコ 蕎麦に天ぷらを載せ、温かい蕎麦は躰と心を温めて くれる。ゆっくりお茶をいただいたら出発する。

ここからは森戸川沿いに平坦な道を歩く気持ちが良

いコースだ。清流を眺めながら歩いていると、ポツリと雨粒が落ちてきた。

空を見上げると青空が見え、「すぐに止むから大丈夫」と言ったがお嬢達は「傘を出す」と言ってきか

ない。我輩とY田さんは先に行き、林道ゲートで後続を待つ。雨はすでに上がり、住宅街を抜けて左折すると川久保交差点のコインパーキングに着いた。まっすぐ帰る予定だったが、三浦大根とマグロを買いたいとせがまれ三崎の「うらり」へ向かった。

途中に野菜直売所があり、太くて大きい三浦 大根やブロッコリー、菜花などをゲットし「うら り」に向かう。引橋の交差点で信号待ちする と「三崎生鮮ジャンボ市場」の大きな看板が



あり、「ここでいいんじゃないの」とジャンボ市場に向かう。

マグロやブリが安く、他の魚も安いので皆さん喜んで買っていた。我輩もブリの刺身とシシャモを買ったが、ボリュームがあり2日間美味しくお酒をいただけた。帰りは三浦縦貫道路から横浜横須賀道路に入り往路を戻ったが、渋滞も無く順調に走り5時前に岩舟支所に着き、夕食の食卓にお土産の魚が間に合った。